

ピアホームだより

2010. 7. 8

新しい仲間

7月、ピアホーム I に2人の新しい仲間が加わりました。これで、グループホームピアホームは、全ての部屋が埋まったこととなります。2人とも、今月は、いわば慣らし運転で、ミーティングも徐々に参加を増やしていきます。

去年の5月のスタート時、皆さんと手続きツアーをしたり、クーラー設置をしたりと大忙しでしたが、その経験が活きて、今回はよりスマートに事が運んでいると思います。

2人は、まだまだ、目いっぱいと思いますから、先輩の皆さまは、気軽に相談にのってあげ、少しでも負担を軽くしてあげていただきたいと思います。

新しい仲間は、このピアホームに活気をもたらしてくれています。まずは、お互いをよ

く知りましょう。

7月の行事

<7月14日>中山さんカンファ（病院で）

<7月15～16日>サービス管理責任者
研修

<7月24日>外部交流（牧野さん招請）

<7月27日>臼井さんカンファ（リトル）

<7月29日>ピアホーム I 食事ツアー

比嘉里恵エッセイ集

クリームパン

（続き）うれしそうにして、胸の前の枯れ葉を吟味していました。その中から大事そうに、両手で持った何かがありました。店主のアイ子ちゃんは、「これは、クリームパンです。」と言って、両手で大事そうに、お客に差し込みました。お客も応えて両手で受け取り、手のひらの「クリームパン」を見て、感激しました。それは、黄色のイチョウの葉だったのです。

お客は、その感動を店主のアイ子ちゃんに、ことばで伝えました。「まあ、なんとおいしそうなクリームパンなんでしょう。ありがと

うございます。とても、おいしそうなので持ち帰り、みんなでいただきますね。ほんとうにありがとう。」と。アイ子ちゃんは眼を大きくして、にっこりしました。タックンもお客を、ニコニコ顔で仰ぎました。

お母さんは、お客の白髪の老婦人に「ありがとうございます。」とお礼を言いました。立ち去るお客の耳に、「よかったね。」と、子供たちに話している母親の声が聞こえました。

家に戻った老婦人は、持ち帰ったイチョウの葉をはがきに描き、一言添えて友人に送りました。——ごっこ遊びのお店屋さんで買い物をしました。店主の女の子は「これはクリームパンです。」と両手で大事そうに渡してくれました。その「クリームパン」を描いて、おすそわけします。——

<皆で遊ぶ川柳>

つるは千年 亀は万年

精神福祉は0年

（長寿家族）

だれでも入院 いつでも入院

そのまま入院（ベッド志向の精神病院）